

独立行政法人国立美術館 **国立新美術館** 様

On-Lapを現代美術の作品の一部として採用。  
仕様やメンテナンス性の良さでほぼ一択でした。

## 新 THE NATIONAL ART CENTER, TOKYO 国立新美術館

国立新美術館は、コレクションを持たず、国内最大級の展示スペース（14,000㎡）を生かした多彩な展覧会の開催、美術に関する情報や資料の収集・公開・提供、教育普及など、アートセンターとしての役割を果たす、新しいタイプの美術館である。内外から人やモノ、情報が集まる国際都市、東京に立地する美術館として、「美術」を介して人々がさまざまな価値観に触れる機会を提供し、相互理解と共生の視点に立った新しい文化の創造に寄与している。



国立新美術館 The National Art Center, Tokyo

URL : <http://www.nact.jp>

業種 : 教育, 博物館, 美術館

【取材日 : 2017年8月】



### ムルヨノとセラム（インドネシア）

#### 《良心のためのアート：244 x 122 の学校》

2006年にインドネシアのジャカルタで設立されたアーティスト・コレクティブ、ムルヨノとセラムが行ったワークショップで制作された作品40枚とその様子を紹介する映像10本を組み合わせたアート作品。映像の投影にOn-Lap1503シリーズが採用されており、芸術作品の一部となっている。  
サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで（2017年7月5日～10月23日 森美術館と同時開催）での展示。

## 導入の背景

国立新美術館 情報企画室長 主任研究員 室屋 泰三様 (以下: 室屋様): 今回の企画展「サンシャワー: 東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」では、森美術館とあわせてASEANの現代美術作家86組の作品を展示しています。ASEAN設立50周年ということで、現代美術の展示としてはこれだけの規模のアジア作家が集まるのは初めてだと思います。会期も通常は2か月程度が多いですが、今回は3か月です。

このような現代美術の展覧会では、作品の展示方法をアーティストにヒアリングしてリクエストに応じて、作品に合う機材を探しています。現代美術ならではの表現方法ですが、ビデオ・インスタレーションも多いため、どのように映像を見せるか、というのも作品の一部になります。



フルHD、視野角が広いIPSパネル、HDMI出力、薄型、壁面への取り付け、メンテナンスのしやすさなどの条件を考えたら「On-Lap」ほぼ一択でした

室屋様: 作品の大きさやレイアウトを考えたときに、On-Lapの15インチがちょうどいいサイズでした。作家は最初はタブレットで良いと言っていたのですが、タブレットだと小さすぎるんです。タブレットによるソリューションも検討しましたが、運用管理面の利便性とコストパフォーマンスを考慮して小型モニタ+メディアプレーヤーを採用しました。On-Lapは非常にシンプルで、電源のON/OFFも簡単。外観も奇をてらったところがなく、ニュートラルなので非常になじみやすい。もともとGeChic製品の存在は把握しており、他社の小型モニタ等と比較検討した結果、解像度・視野角など表示性能の優位性が決め手となってOn-Lapを採用しました。機材を選定する際は、学芸員を間に入れ、作家とのやり取りを行います。映像を映す必要がある場合は、解像度等の必要条件をヒアリングしながら機材全体のスケッチを作っていきます。



On-Lapの背面オプションにメディアプレーヤーを搭載。壁面への取り付けはVESAMOUNTキットを活用

室屋様: 映像の出力には安価な単機能小型メディアプレーヤーを使用しています。背面に収まるサイズです。壁面への取り付けはオプションのVESA取り付けキットを使用しています。



On-Lap1503Hを10台、他の展示にOn-Lap1101Hも活用

室屋様: 15インチの1503H以外にも、11インチの1101Hを4台、他の展示に使用しています。雑貨店をモチーフにした展示でフォトフレームのに使用しています。15インチは作家のスケッチブックの再現展示にも使用しています。



アングン・ブリアンボド (インドネシア) の作品《必需品の店》  
「実際に買い物をする」という自分がアートへの参加になるという、東南アジアの雑貨店をモチーフにしたユニークな展示。レジ横の映像にOn-Lap1001Hが使用されている。

アーティストのリクエストに応えつつも予算内で良い機材を探します

室屋様: ビデオ・インスタレーション作品は展示場所に依存することが多いので、場所にあわせて形を変えた展示を行うことが多いですね。ビデオ・インスタレーション作品ならではの柔軟さや面白さを表現するためには機材選びも非常に重要な要素の一つです。とはいえ、国立新美術館も独立行政法人ですので、予算の効率的な運用が求められます。アーティストが大切にしていることと、予算の兼ね合いを見ながら、機材を選んでいくのが腕の見せ所でもあります。例えば、このOn-LapもフルHDということで、今後の展示にも応用が利くでしょう。既存の資産も活かしながら展示を創り上げていくことが大切だと考えています。



国立新美術館 情報企画室長  
主任研究員 室屋 泰三様

## 導入製品

- ・On-Lap1503H × 10台
- ・HDMI+USBドックポートケーブル×10台
- ・On-Lap1101H × 12台
- ・三脚マウント× 12台
- ・マルチマウントキット×10台

お問い合わせ先: 取扱店 / 販売店

**TEKWIND**  
テックウインド株式会社  
〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル7F

ご購入前の相談窓口  
東京本社 **03-4323-8619**  
大阪営業所 **06-6630-4567**  
【営業時間】 10:00 ~ 12:00/13:00 ~ 18:00  
(土日祝日を除く)

テックウインド

検索

<http://www.tekwind.co.jp/>

このリーフレットの記載内容は2017年8月1日現在のものです。製品の仕様等は予告なく変更される場合がございます。